

9 消 防 費

1, 754, 267, 576円

項 目	ペー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	489

防 災

常備消防としては、本年度も東京都に事務委託をし、東京消防庁青梅消防署を中心に多様化する災害への対応を図るとともに、防災および救急体制の充実に努めた。

消防団においては、正副団長の任期満了に伴い改選が行われ、川鍋重美団長が留任、濱野馨、渡邊康章両副団長が就任したほか、新たに団員として61名を任命するとともに、11月11日（日）に青梅市総合体育館において自治体消防団発足70周年記念式典を挙行了した。

青梅市消防団に対し積極的に協力いただいている市内2事業所に、青梅市消防団協力事業所表示制度実施要綱にもとづき、消防団協力事業所表示証を交付した。

また、公務災害防止を目的として、消防団危険予知トレーニング（S-KYT研修）を実施した。

災害対策については、6月24日に今井地区において土砂災害対応訓練を、8月26日に青梅市立河辺小学校校庭において総合防災訓練を実施し、防災関係機関相互の連携の強化、防災計画の運用習熟を図るとともに、市民の防災意識の高揚と災害対応力の強化を図った。

地震発生時におけるブロック塀等の倒壊による被害を防止し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、道路に面したブロック塀等の撤去に対し、補助金を交付した。

消 防 費

1, 754, 267, 576円

○ 防 災 対 策 費 （1, 754, 267, 576円）

[防災課]

1 常備消防経費

(1) 事務委託費 1,369,120千円

(2) 青梅消防署の現況

ア 消防吏員数

(単位：人)

署・出張所	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事 務	合 計
本 署	1	3	12	28	35	29	7	2	117
日向和田	0	0	1	7	12	13	5	0	38
長 淵	0	0	1	7	10	5	3	0	26
合 計	1	3	14	42	57	47	15	2	181

(歳出 9 消 防 費)

イ 車両保有数

(単位：台)

区分	本署	日向和田出張所	長淵出張所	合計
消防ポンプ車	3	2	2	7
ハシゴ車	1	—	—	1
化学車	1	—	—	1
救助車	1	—	—	1
救急車	2	1	1	4
広報車	3	—	—	3
指揮車	1	—	—	1
指揮隊車	1	—	—	1
人員輸送車	1	—	—	1
山岳救助車	1	—	—	1
資材輸送車	—	2	—	2
指揮統制車	1	—	—	1
消防活動二輪車	—	3	—	3
合計	16	8	3	27

※ 本署救急車1台、本署・長淵出張所消防ポンプ車各1台、日向和田出張所消防活動二輪車1台は非常用車両

ウ 消防ポンプ車等の出動状況

(単位：延台数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
655	655	571	807	784	626	688	617	735	861	616	645	8,260

エ 救急車の出動状況

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
456	497	435	606	562	474	525	470	540	638	493	456	6,152

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、人、回)

火災出動					水災出動		その他出動	
火災件数	出動回数	延出動団員数	1回平均団員数	団員1人平均回数	出動回数	延出動団員数	出動回数	延出動団員数
32	23	901	29	1.6	0	0	175	4,351

(2) 消防団員等損害補償

(単位：円)

所属	傷病名	原因	療養補償費	休業補償費	休業援護金	合計
第1分団	右足背部打撲傷	操法訓練	17,591	0	0	17,591
第2分団	左母趾爪壊死	操法訓練	17,828	0	0	17,828

所 属	傷 病 名	原 因	療 養 補 償 費	休 業 補 償 費	休 業 援 護 金	合 計
第 3 分 団	左第一指関節捻挫 左第五指関節捻挫 腰部捻挫 右膝関節捻挫	操 法 訓 練	254,380	0	0	254,380
第 6 分 団	右股関節捻挫	操 法 訓 練	24,830	0	0	24,830
第 7 分 団	両大腿筋挫傷 両側坐骨神経痛	操 法 訓 練	20,144	0	0	20,144
合 計	—	—	334,773	0	0	334,773

(3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合 計
退職人員	13	5	2	0	0	0	20

(4) 消防団出初式

1月13日(日)、永山公園グラウンドにおいて、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員ならびに消防団活動に協力のあった団体について表彰した。

また、市内2事業所に対する消防団協力事業所表示証の交付や青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 市長表彰

無火災竿頭綬 第7分団

イ 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
永 年 勤 続 功 労 章	団本部 副 団 長 堀内 一匡 以下 36人
表 彰 状 お よ び 表 彰 き 章	第2分団第5部 部 長 川口健太郎 以下 8人
精 績 章	第6分団第4部 部 長 青木 達夫 以下 5人
精 勤 章	第8分団第3部 班 長 梅田 慎一 以下 55人

ウ 分団表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
表 彰 状	第48回東京都消防操法大会出場分団 第2分団

エ 一般表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 団 体
消防団の支援および発展に寄与した功績	団 体 青梅市自治会連合会第7支会

(歳出 9 消 防 費)

(5) 消防団上部団体等からの表彰

- ア 東京都消防褒賞
団本部 副団長 松原 正嗣
第6分団 分団長 山崎 広己
- イ 日本消防協会定例表彰
竿頭綬 青梅市消防団
精績章 第7分団 分団長 青木 慎治
- ウ 東京都消防協会定例表彰
竿頭綬 青梅市消防団
功勞表彰 第3分団 分団長 小林 正寿
優良表彰 第2分団 副分団長 鈴木 聡司
以下3人
以下9人
- エ 東京都三多摩消防団連絡協議会表彰
優良表彰 第6分団
- オ 救命講習普及業務功勞
東京消防庁総監賞 第2分団第2部 部長 木森 慶蔵
以下5人
東京消防庁防災部長賞 団本部女性部 班長 藤井 純子
- カ 東京消防庁青梅消防署長表彰
消火活動功勞
第1分団第1部・第1分団第3部
第2分団第1部・第2分団第2部・第2分団第3部
第2分団第4部・第2分団第5部・第2分団第6部
第6分団第2部・第6分団第3部・第6分団第4部
第7分団第1部・第7分団第2部・第7分団第4部
第8分団第1部

(6) 消防団協力事業所表示証交付

特別養護老人ホーム成蹊園
岩浪建設株式会社

(7) 消防団員の改選および団員の任命

4月8日、霞共益会館ホールで任命式を挙行し、新役員および新入団員に辞令の交付を行った。

なお、新役員および団員の任命は次のとおりである。

ア 役員任命

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	合計
1	4	8	8	35	37	84	177

イ 分団別新入団員任命

団本部 女性部	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	6分団	7分団	8分団	合計
0	9	12	9	12	8	2	0	9	61

ウ 新任役員（分団長以上）

所属階級	氏名	備考	所属階級	氏名	備考
団長	川鍋 重美	留任	第3分団長	小林 正寿	前副分団長
副団長	堀内 一匡	留任	第4分団長	増田 悠樹	前副分団長
副団長	松原 正嗣	留任	第5分団長	木下 勝臣	前副分団長
副団長	濱野 馨	前第1分団長	第6分団長	山崎 広己	前副分団長
副団長	渡邊 康章	前第5分団長	第7分団長	青木 慎治	前副分団長
第1分団長	海藤 弘次	前副分団長	第8分団長	橋本 定明	前副分団長
第2分団長	田中 克	前副分団長			

(8) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額

18,905千円

(単位：人、千円)

区	分	本部	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	第6部	合計
団本部	算定人員	556	—	—	—	—	—	—	—
	金額	901	—	—	—	—	—	—	901
第1分団	算定人員	84	17	16	18	15	16	—	—
	金額	611	423	406	439	390	406	—	2,675
第2分団	算定人員	81	12	10	16	13	15	13	—
	金額	571	300	307	353	343	363	304	2,541
第3分団	算定人員	58	16	10	15	15	—	—	—
	金額	527	380	307	389	363	—	—	1,966
第4分団	算定人員	74	12	13	12	12	10	13	—
	金額	571	287	356	340	340	294	357	2,545
第5分団	算定人員	75	15	17	15	26	—	—	—
	金額	586	389	423	389	591	—	—	2,378
第6分団	算定人員	60	16	16	15	11	—	—	—
	金額	540	406	413	389	323	—	—	2,071
第7分団	算定人員	46	15	11	9	9	—	—	—
	金額	501	390	344	290	290	—	—	1,815
第8分団	算定人員	62	16	16	16	12	—	—	—
	金額	534	367	366	406	340	—	—	2,013

※ 団本部運営費については、女性部分（算定人員 11名 金額 107千円）含む

(歳出 9 消 防 費)

(9) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、円、人)

分 団	建 物			林 野			そ の 他			合 計			死 者	傷 者
	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額	件 数	焼失 面積	損害額		
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	4	1,117,300	0	0	0	2	0	10,100	4	4	1,127,400	0	2
3	6	10	885,930	0	0	0	6	330	1,700	12	340	887,630	0	1
4	0	0	0	0	0	0	1	50	0	1	50	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	2	0	2,052	2	0	2,052	0	0
6	0	0	0	1	3,030	960,000	2	0	36,184	3	3,030	996,184	0	1
7	1	15	67,000	0	0	0	0	0	0	1	15	67,000	0	0
8	8	3	3,243,450	0	0	0	1	0	500	9	3	3,243,950	0	2
合計	17	32	5,313,680	1	3,030	960,000	14	380	50,536	32	3,442	6,324,216	0	6

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	2	3	3	1	1	4	0	5	5	2	2	32

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	煙 草	火遊び	ガステーブル	電気配線	暖房器具	たき火	花 火	その他	合 計
4	2	0	1	1	2	0	2	20	32

※ 火災原因その他内訳

焼却火 4件、天ぷら油の使用放置 2件、火花 2件、コンデンサ 2件、取灰 1件、
車エンジン 1件、電磁調理器 1件、ガストーチバーナー 1件、テレビ 1件、マルチ
タップ 1件、電気ドリル 1件、過電流 1件、蓄電池 1件、テスラコイル 1件

(10) 消防団の活動

ア 消防団ポンプ操法訓練審査会

6月3日(日)、青梅市交通公園において開催された。成績は次のとおりである。

区 分	1位	2位	3位	4位	5位	6位
総 合	第3分団	第2分団	第8分団	—	—	—
消防ポンプ車の部	第3分団 第1部	第4分団 第4部	第2分団 第5部	第4分団 第1部	第3分団 第4部	第5分団 第2部
小型動力ポンプの部	第2分団 第4部	第8分団 第3部	第5分団 第3部	第3分団 第3部	第4分団 第3部	第5分団 第4部

イ 西多摩地区消防団幹部研修会

9月9日(日)、青梅市役所において、「平成30年西多摩地区消防団連絡協議会
幹部研修会」が開催され、青梅市消防団から団長以下65名が参加した。

ウ 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所
4月	8日	青梅市消防団任命式	霞共益会館
	10日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	あきる野市「あきる野ルピア」
	17日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	パレスホテル立川
	27日	東京都消防協会総会	スクワール麴町
5月	12日	専科教育（警防科）	東京都消防訓練所
	19日	専科教育（機関科）	東京都消防訓練所
	28日	市内危険箇所打合せ	青梅市役所
6月	3日	青梅市ポンプ操法訓練審査会	青梅市交通公園
	9日	専科教育（救急科）	東京都消防訓練所
	24日	青梅市土砂災害対応訓練、青梅市消防団水防訓練	今井地区
	30日	幹部教育研修（初級）	東京都消防訓練所
30日～7月1日		団幹部研修視察	東京消防庁第9消防方面 本部機動部隊訓練所ほか
7月	22日	S-KYT 研修	青梅市役所
	26日	青梅市防災会議	青梅市役所
8月	4日	青梅市納涼花火大会特別警戒	永山公園グラウンドほか
	26日	青梅市総合防災訓練	河辺小学校
9月	1日	上級救命講習会	青梅消防署
	9日	西多摩地区消防団連絡協議会幹部研修会	青梅市役所
10月	6日	第48回東京都消防操法大会	東京都消防訓練所
11月	3～4日	青梅市産業観光まつり（消防団PRコーナー設置）	永山公園グラウンド
	9～10日	消防ポンプ車・小型動力ポンプ点検	市内各所
	9～15日	秋の火災予防運動	市内全域
	11日	自治体消防団発足70周年記念式典	青梅市総合体育館
	17～18日	幹部教育研修（指揮）	東京都消防訓練所
	18日	機関運用訓練	市民球技場
12月	9日	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
	25日	消防団無線交信試験	市役所防災課・市内各所
	25～31日	歳末警戒	市内全域
	30日	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1月	1日	初詣特別警戒	市内各所
	13日	消防団出初式	永山公園グラウンド
	20日	青梅市防災講演会	青梅市役所
	24日	文化財防火デー 消防団・消防署合同演習	塩船観音寺
2月	17日	第53回青梅マラソン特別警戒	市内各所
3月	1～7日	春の火災予防運動	市内全域
	1日	消防団・消防署合同演習	永山公園
	3日	非常招集訓練、山林パトロール	市内各所
	10日	幹部教育研修（上級）	東京都消防訓練所

エ 備品の購入・配布状況

(ア) 消防ホース

(単位：本)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
23	29	19	28	18	23	23	18	181

(イ) 防火服

(単位：着)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
5	6	4	6	5	5	5	4	40

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月20日に青梅市役所において、自助、共助を原則とした市民の防災意識の高揚を図ることを目的として、防災講演会を開催した。

ア 講演 自助・共助で取り組む地域防災～災害が起きた時に必要なこと～
講師 大澤 サユリ 氏（特定非営利活動法人日本防災士会参与）

イ 参加者 298人

(2) 震災および風水害等の対策

ア 台風24号

(ア) 雨量の状況

観測地点	9月30日から10月1日 累計雨量 (mm)	時間最大雨量 (mm)
市役所本庁舎	95.5	20.5mm (1日・1時)
梅郷市民センター	131.5	32.0mm (1日・0時)
御岳山防災センター	150.0	48.5mm (1日・0時)
小曾木市民センター	97.0	19.0mm (30日・19時)
第7分団第3部詰所	131.5	46.0mm (1日・0時)
新町市民センター	94.0	14.5mm (30日・19時)

(イ) 風の状況

気象庁が、都農林総合研究センター青梅庁舎に設置しているアメダスによると、10月1日（月）の午前0時6分に最大瞬間風速29.3m/s（南南東）を観測した。

(ウ) 市の体制等

9月30日（日） 4時09分 強風注意報発表
13時00分 準備体制
16時35分 大雨・洪水注意報発表
16時35分 暴風警報発表
16時35分 第1号注意体制（災害対策連絡室設置）

9月30日(日) 20時26分 竜巻注意情報発表
 20時55分 大雨警報(浸水害)発表
 22時09分 大雨警報(土砂災害)発表
 23時36分 土砂災害警戒情報発表
 23時43分 第2号警戒体制(災害対策本部設置)
 23時45分 洪水警報発表

10月1日(月) 0時15分 第1回災害対策本部会議
 2時00分 第2回災害対策本部会議
 3時08分 土砂災害警戒情報解除
 3時11分 強風・洪水注意報(警報から注意報)
 5時04分 大雨注意報(警報から注意報)
 5時04分 洪水注意報解除
 7時42分 大雨注意報解除
 8時20分 第3回災害対策本部会議
 8時30分 警戒体制解除

(エ) 被害状況

公共施設等では、倒木等155件、雨漏り2件、フェンスの破損3件、その他、カーブミラー・街路灯の倒壊等29件が発生した。

(オ) 公共交通

JR青梅線(全区間)は、9月30日(日)の20時以降、上下線で終日運休し、10月1日(月)の6時06分頃運転を開始した。

(カ) 停電状況

地 区	軒 数	時 間 帯	原 因
勝沼1丁目から3丁目、 西分町1丁目・2丁目、 東青梅2丁目、6丁目 上町、住江町、本町、森下町	約1,800	9月30日23時51分から 10月1日4時59分まで	高圧線断線
今井1丁目から4丁目 富岡1丁目、藤橋1丁目	約2,900	10月1日0時17分から 3時55分まで	倒木

※ その他、1～2分間の停電発生 約1,630軒

イ 災害対策用備蓄品の購入

(単位：千円)

品名	規格	数量	金額	備蓄倉庫
ビスケット	50食入り	224箱	1,693	友田小学校、第七小学校、第二中学校、第六中学校、長淵市民センター、小曾木市民センター、御岳山ふれあいセンター、御岳山防災倉庫
アルファ 化米	白米 50食入り	120箱	1,400	長淵市民センター、小曾木市民センター、御岳山防災倉庫
	五目 50食入り	57箱	810	
飲料水	1本あたり490ml アルミ製 1箱24本入り	5,016本	634	友田小学校、吹上小学校、第五小学校、第六小学校、第七小学校、成木小学校、第四小学校、若草小学校、河辺小学校、藤橋小学校、今井小学校

ウ 災害時等における応援協定等の締結について

名称	締結日	締結先
災害時等における地図製品等の供給に関する協定	7. 2	株式会社ゼンリン
災害時等における車両等の提供に関する協定	7. 3	奥住運輸有限会社
災害時等における電気設備の応急対策業務に関する協定	1. 29	西多摩電設工業協同組合

エ 青梅市における気象

(ア) 降水量

(単位：mm)

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	月合計	54.5	108.5	125.5	141.5	214.0	391.5	53.5	21.5	31.0	10.5	21.0	115.0	1288.0
	日最大	22.5	34.0	37.5	83.5	44.5	77.0	21.0	12.0	15.0	10.0	17.5	43.5	-
	時間最大	8.5	12.0	6.0	24.5	25.0	41.0	20.5	4.0	6.0	3.5	4.0	9.5	-
新町市民 センター	月合計	59.0	132.5	117.0	155.5	203.0	377.0	53.0	17.0	32.5	10.5	23.0	106.0	1286.0
	日最大	24.0	35.0	34.0	84.5	59.5	82.0	18.0	6.0	15.5	10.0	18.0	10.5	-
	時間最大	9.0	13.0	6.0	24.5	31.5	28.0	14.0	1.5	5.5	3.5	5.0	9.0	-
小曾木市民 センター	月合計	61.0	128.0	130.0	185.5	180.0	393.5	52.0	23.0	31.0	9.0	26.5	113.5	1333.0
	日最大	23.5	36.0	44.5	97.5	34.5	80.0	18.5	15.0	15.0	9.0	17.0	44.0	-
	時間最大	8.5	11.5	5.0	23.5	18.0	28.5	18.0	5.5	5.5	3.0	4.0	8.5	-
第7分団 第3部2班 詰所	月合計	71.0	137.0	168.0	184.5	284.0	396.5	61.5	29.5	29.5	8.5	27.0	132.0	1529.0
	日最大	25.0	34.0	52.0	126.0	84.0	124.0	23.5	15.0	15.0	8.5	16.0	44.5	-
	時間最大	7.5	12.5	5.5	23.5	34.5	46.0	23.0	7.0	4.5	3.5	3.5	8.0	-
御岳山防災 センター	月合計	79.0	143.0	176.0	202.0	251.5	503.0	66.5	31.0	34.5	0.5	31.0	112.0	1630.0
	日最大	26.5	38.0	48.0	80.0	56.0	172.0	23.0	13.5	21.5	0.5	18.0	39.0	-
	時間最大	8.5	11.5	6.0	29.0	38.0	60.0	22.5	6.0	8.5	0.5	3.5	8.0	-
梅郷市民 センター	月合計	67.0	128.0	145.0	174.5	203.0	419.0	58.5	25.5	29.0	9.0	21.0	125.0	1404.5
	日最大	24.5	36.5	39.0	99.5	51.0	119.5	22.5	13.5	15.0	9.0	17.5	44.5	-
	時間最大	9.0	12.0	6.0	24.0	16.0	32.0	22.0	6.0	5.5	2.5	3.5	8.5	-

値)：準正常値…品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合。

(イ) 気温・風向・風速

(単位：℃、m/s)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
アメダス情報	気 温	平 均	日 平 均	15.5	18.9	21.8	27.9	27.3	21.7	17.5	12.2	6.4	3.3	5.3	8.7	
			日 最 高	22.4	25.1	26.8	33.8	33.3	26.2	22.5	17.4	11.8	10.0	11.2	14.5	
			日 最 低	9.6	13.3	17.3	23.3	22.5	18.4	13.3	7.5	1.2	-2.7	-0.1	3.0	
	最 高	最 高	30.0	32.1	34.7	40.8	38.0	33.4	33.2	23.9	21.9	14.0	19.5	22.0		
		最 低	2.4	6.8	13.4	18.1	15.0	11.9	7.8	1.6	-5.2	-5.1	-4.4	-2.5		
	風 向	平 均 風 速	平 均 風 速	1.4	1.2	1.2	1.4	1.4	1.0	0.8	0.8	1.1	1.3	1.4	1.5	
			最 大	風 速	7.3	5.6	6.7	5.4	6.5	10.0	11.6	3.3	4.5	4.8	5.9	6.9
				風 向	南	南南西	南	南	南南東	南南東	南南東	東南東	北北東	北西	北北東	南南東
	風 速	最 大 瞬 間	風 速	15.4	11.5	14.7	11.4	15.6	25.2	29.3	7.2	10.9	13.5	13.7	12.5	
			風 向	南	南	南	南南西	南東	南南東	南	北	北北東	北西	北	東南東	

情報は気象庁が観測するアメダス情報による。

アメダス設置場所 都農林総合研究センター青梅庁舎（新町6-7-1）

(3) 青梅市防災会議

ア 青梅市防災会議委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
◎浜中啓一	市長		野崎啓太郎	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	
大塚満	指定地方行政機関職員		江本浩		
能村眞和	自衛隊員	3.22退任	百瀬澄雄		
渡邊信洋		3.23就任	岩浪登		
西村健	都職員		高橋正		
播磨あかね		4.1就任	酒井政修		
内山聡			合崎福男		5.23退任
浅野雄二	警察官	2.17退任	久保稔		5.24就任
桑嶋康雄		2.18就任	比留間啓之		
石田孝二	消防史員		舘盛和		
川鍋重美	消防団長		大越正則		7.31退任
池田央	副市長		金子典由		8.1就任
岡田芳典	教育長		原島初江		
佐藤祥	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員		小林弘政		
宮沢文寿			伊藤浩		
佐藤永一			宮口泉		自主防災組織代表者
田森都美子		6.30退任	加藤めぐみ	学識経験者	
濱田一統		7.1就任	原義人	病院事業管理者	
梅田純一			星野由援	市職員	4.1就任
中村洋介					

◎は会長

イ 防災会議の開催

月 日	内 容
7.26	平成30年度青梅市総合防災訓練について 青梅市地域防災計画の年次修正について

(歳出 9 消 防 費)

(4) 総合防災訓練

8月26日午前8時から河辺小学校校庭等において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、立川断層帯地震等を想定した総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、11組織に対し総額1,434,854円を交付した。
また、青梅市まとい会の活動助成金として、100,000円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、8組織に対し総額497,160円を交付した。

また、3月17日に防災リーダーの育成を目的とした防災リーダー講習会を実施し、防災士や自主防災組織等から39人が参加した。消火や救出救助訓練ほか、東京消防庁VR防災体験車による各種災害の疑似体験を行うなど、防災リーダーの育成を図った。

(6) 市内危険箇所調査

5月28日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打合せ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

また、その結果は、7月12日に開催した青梅市防災機関事務担当者会議で防災会議機関に報告した。

なお、危険箇所は、次のとおりである。

ア 法律等にもとづく箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁崩壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の 予防措置が不適切と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	法面の保護がなされていない ため、家屋へ危険を及ぼす恐れ がある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水 等により一部崩壊しており、さ らに崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区

イ 過去に被害が発生した箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	今寺1-808-13付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水および道路・宅地が冠水した。	
2	今井3-4-24付近ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床下浸水および工場浸水があった。	

ウ 地形等から危険が想定される箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した際、民間保養施設来場者に人命危険が考えられる。	
2	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見られ崩壊の危険がある。崩落発生の場合は、建物3棟に影響の恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
3	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4～5m離れたところが垂直な崖となっており、大雨・地震等による崩落があると、人的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域
4	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇所が崩落しており、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく規制区域
6	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域
7	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域

(7) 土砂災害対応訓練

6月24日午前10時から市庁舎災害対策本部室および今井市民センターほかにおいて、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として実施した。

(8) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	47	8	3	45	103

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(9) ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った20件に対し、総額1,486,000円を交付した。

(10) 国民保護協議会

国民保護協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		野崎啓太郎	知識経験者	
能村眞和	自衛隊員	3.22 退任	江本浩		
渡邊信洋		3.23 就任	百瀬澄雄		
奥秋聡克	都職員	4.1 就任	岩浪登		
播磨あかね		4.1 就任	高橋正		
内山聡			酒井政修		
浅野雄二		2.17 退任	合崎福男		5.23 退任
桑嶋康雄		2.18 就任	久保稔		5.24 就任
石田孝二	消防吏員		比留間啓之		
川鍋重美	消防団長		舘盛和		
池田央	副市長		大越正則		7.31 退任
岡田芳典	教育長		金子典由		8.1 就任
佐藤祥	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員		原島初江		
宮沢文寿			原義人	市職員	
佐藤永一			星野由援		4.1 就任
田森都美子		6.30 退任	/		
濱田一統		7.1 就任			
梅田純一					
中村洋介					

◎は会長

4 消防施設維持管理経費

消火栓の設置

(単位：基)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
0	1	0	0	0	0	0	0	1

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126か所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回（4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時）のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送（火災の発生・鎮火など）を実施した。

(2) 移動系

災害時における情報の伝達・収集に活用した。

6 避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分	登 録 者 数	備 考
避難行動要支援者名簿	災害時	10,047人
	平常時	6,426人

7 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
小型動力ポンプ	更新	第1分団第2部以下3部	3台
背負い式散水装置	更新	第1分団第2部以下6部	6台

(2) 防火水槽撤去工事

(単位：千円)

種別	工 事 内 容	契約金額	受 注 者	施 工 場 所	契約工期
市単	防火水槽（丸型40m ³ 級）撤去	5,184	(株)久下土建	黒沢1丁目地内	12.11 ～3.6
市単	防火水槽（丸型40m ³ 級）撤去	5,886	(株)松本造園土木	柚木町2丁目地内	12.18 ～3.6

8 防災行政無線整備経費

固定系防災行政無線の難聴地区対策として、沢井・御岳地区の土砂災害警戒区域を対象に簡易受信システムを整備した。

9 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、3地区の負担金を支払った。

(単位：円)

名 称	金 額	市 負 担 率
河辺町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	5,284,800	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	6,841,160	
千ヶ瀬町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	6,518,792	

(歳出 9 消 防 費)